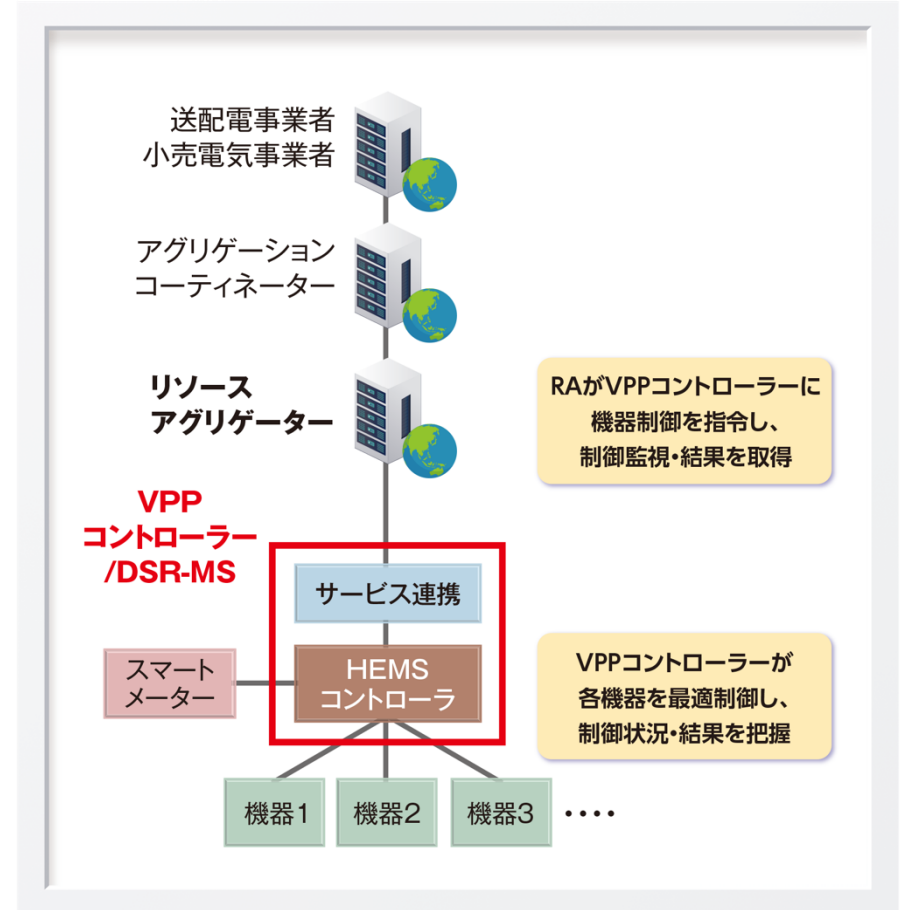


- DR/ERAB
- アグリゲーター

「DSR-MS/VPPコントローラー」

需要家サイドの低圧リソースを用いたVPPサービスについては、実証事業での検討は進んでいますが、需給調整市場への採用にはまだ課題が残っているのが現状です。JEMAでは、より正確に安定的にVPPサービスの実現を目指し、VPPサービスに必要な機能を具備しているHEMS等をVPPコントローラーと定義し、リソースアグリゲーター(RA)とVPPコントローラー間およびVPPコントローラーと需要家機器間を対象とした制御シーケンス例と必要となるデータ案を検討し、VPPガイドライン第2版として整理して公開しています※。第2版では、VPPサービスに限定することなく、制御リソースとして需要家サイドの機器を活用したDR(デマンドレスポンス)制御を対象とすることを明確化するために、VPPコントローラーをDSR-MS(Demand Side Resources- Energy Management System)と名称変更した。

需給調整市場では受電端での電力制御量が取引対象として定義されていることもあり、スマートメーターで計量した受電端の電力量をBルートで把握するDSR-MS/VPPコントローラーが、RAからの制御指令を受けて配下の各機器を最適制御する機能を受け持つことで制御対象機器とすることを提案したものです。



※ https://jema-net.or.jp/Japanese/res/hems/data/VPP_guidelinev2.pdf